

## 〈登山祭典報告〉

### 湖北 山門水源の森～東ヶ谷山 (657.5m) ～大浦越

〈日時〉 2022年10月23日(日) 天気:晴れ時々曇り

〈コース〉 JR 堅田駅(7:30)＝小野駅・和邇駅＝(バス)＝西浅井町山門・山門水源の森入口－山門水源の森巡り－東ヶ谷山－大浦越－161号敦賀市山中＝(バス)＝JR和邇駅・小野駅・堅田駅

〈参加者〉 1班 CL NT SL NY KT KH YK KE(記録) 一般7名  
2班 CL KH SL HH HM HA IT 一般6名  
3班 CL NT SL KH SM SM SH 一般7名  
4班 CL KK SL HS AK HK OM OT 一般5名  
計 会員22名 一般25名 合計47名

7:45 和邇駅出発。天気予報は曇りで夜中に雨が降っていたが朝からまずまずの天気。バスは満員、笑顔が一杯。賑やかだ。途中で3名ピックアップ。バス車内で会長から挨拶・コース説明と注意事項等があり、続いて班分けの発表。  
9:00 道の駅追坂峠。トイレ休憩。ここで受付をした後、手指消毒し乗車。少し風が吹いて肌寒い感じ…。

9:35 山門水源の森入口到着。駐車場で全員揃って体操の後、他の場所からの植物等を持ち込まない様靴の裏を洗い入場。今日は受付の方が居られないと聞いていたが、女性が出迎えてくれる。こちらが行くと伝えたので「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」の前会長夫妻がわざわざ来て下さったのだ。有難かったです。協力金を支払い、受付を済ます。詳細なパンフレットを全員頂く。

10:05 出発。沢道コースを通る。歩いているとヤマユリ(花は6月頃開花)の周りを網で囲って保護されているのを見かけた。深い色のリンドウ、センブリ。花がちらほら咲いている。足元にはイモリがいた。ひよいと裏返すと体が赤い。アカハライモリというそう。紅葉が始まっていましたが見頃は11月中旬。途中草刈りをされている方と出会う。ご主人の前会長であった。大事な森を「…引き継ぐ会」が守っているようだ。感謝しながら歩いていく。

かつてこの土地は炭や薪作りに利用されていた里山で、そのころは手入れがされていましたが、その後森は放置されてしまい里山としての環境が失われてしまいました。現在は「…引き継ぐ会」が中心となり保全活動をされているそうです。

10:35 南分岐まで来て、散策コースに行く。途中、四季の森の看板あり。

11:00 北分岐。アカガシが沢山生えている。かつてアカガシは炭の材料として使われたそうです。歩いていくと、サメが口を開けている様なジョーズ岩。

11:40 そして森の最上部まで来る。この辺が最高地点で520m程。

少し戻って守護岩を確認し、ブナの森を見る。紅葉にはまだ早かった。アカガシとブナ、アカガシは温暖な気候を好み、一方のブナは寒冷的な気候を好む、この両方が一緒にあることがあまりないそうです。森に別れを告げて、余呉トレイルの尾根に乗り、東ヶ谷山に向かう。

12:00 日本海(敦賀湾)と琵琶湖の両方が見える景色の広がるところに出る。ここで

昼食。少し風があったので風を避けられる場所でほっと一息。来年は野点が出来ればいいですね。全員集合写真を撮る。

12:40 しばらく行くと会長がふと「この道間違っているんじゃないか？」と気が付き、戻った。道が分かりにくくなっている。この後急坂があり、山道らしくなった。雲が掛かり少しぼつぼつと雨が降ったが大丈夫みたいだ。

13:10 東ヶ谷山到着。山頂は狭いので班毎に写真撮影。この東ヶ谷山から先は入る人も少ないらしい。道が分かりにくく、皆で調べながら進む。

13:50 又道を間違えた様で後ろから呼ばれる。1班は引き返した。間違うと誰かが気が付いてくれて教えてくれる。比良雪、連携プレーです！

13:55 鉄塔に到着。少々休憩。琵琶湖を眼下に眺める。日が照ってきた。

14:15・・・あれ？又道を間違った？ 後ろの人がついてこない。でも、こちらで合ってます。2度間違ったせいか信用されてないかも！ ふと見ると熊の爪痕の様なひっかき傷が木についていた。

鞍部に下りる。大浦越えである。これよりゆるやかな古道を下る。

14:35 ススキの覆う道に出る。でもススキ等はきれいに刈られて歩きやすくなっている。実は4日前に会員4名で草刈りを実施していたのである。

14:45 国道161号脇へ下山。人数点検後 待っていているバスまで車に注意しながら国道を1列で歩く。

15:00 バスに乗り込み出発。道の駅追坂峠でトイレ休憩。

15:40 追坂峠からはメタセコイヤ並木の紅葉を見ようと回り道してもらったが、少し色づき始めたところだった。見頃は10日から2週間位後のようだ。それでも並木道は観光客でいっぱいであった。

バスが蓬莱駅に近付く辺りで副会長から締めめの挨拶。皆さんお疲れ様でした。

ハイキングの様な比較的軽めのコースで皆さんケガもなく元気で下山出来て良かったです。私個人的に山門水源の森は以前から行きたい場所だったので希望が叶いました。公共交通機関が無く行きづらい場所なので、今回バスで行けてラッキーでした。

花も沢山あるので春は見応えがあるのでは？ 何度も訪れてみたい山城でした。

(記: KE)



東ヶ谷山に続く余呉トレイル尾根の展望地にて全員集合